

doubt の初例

酒 見 紀 成

この単語は OF *douter* が中期英語に借入されたもので、したがって元々 *-b -* は無かった。「*-b -* の挿入は 15C からで L の影響 (cf. DEBT)」(『英語語源辞典』, p. 391)。15C のいつ頃からだろうか。*OED2 on CD-ROM* の用例検索を使って date = 1300-1500 の条件で *doubte* をサーチしたところ、23 例見つかった。そのうち Caxton が 16 例。最も古いものは “1423 Rolls of Parlt. V. 407/ 1” の例。次に、同じ条件で *doubt* を探したところ、14 例見つかった。最も古いものは “a 1300 Cursor M. 22604 [Edin]” だが、この写本は *MED* が “a1400” としている Royal College of Physicians だと思われる。次は “1393 Gower Conf. l. 230 ... For it facrere come about, Than afterward hem stant no doubt.” で、これが *OED* の初例と見てよさそうである。そこでエディンバラ大の M. Laing 氏に e メールで問い合わせた。すぐに返事が来て、< b > をもつ綴りは彼女の “LAEME corpus up to 1300” にはなく、*MED* の用例にあるガワーの *Confessio Amantis* [MS Fairfax] からの 3 例 (*doubteth* 1. 2891、*doubtif* 6.2171、*doubtous* 7.3524) より早い例は見つからないので、1400 年頃に流行り出したと考えてよいだろうという結論だった。だとすると、*OED* の初例と同じ年であるが、「15C から」を「1400 年頃から」に狭められる。また、ガワーならラテン語式綴りを使っただろうと納得した。